



実力養成 ——初心 忘るべからず



関西大学学長
河田 悌一

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
「桜咲く 千里の山の まなび舎に」と詠われ、また「千里 鶯ないて 緑、紅に映す」という漢詩のように、この千里山キャンパスの桜の木々には、みなさんが123年の歴史と伝統を有する関西大学の一員になられたことを祝するように、うすべに色の桜花がたわなに咲き誇っています。約29,000人の学部・大学院生、約2,600人の教職員、約35万人の卒業生、校友を代表して、今日から関西大学の仲間になった新入生のみなさんを、私は心から歓迎いたします。

みなさんは、西暦2009年(平成21年)4月1日の今日、関西大学の11の学部で、それぞれ稔り豊かな学生生活を送るため、大いなる期待を胸にいだいて、入学してこられました。

「初心 忘るべからず」と申しますが、みなさんは今日の初々しい気持ち、初心を忘れることなく、それぞれの夢や目標にむかって努力するとともに、充実した大学生活を送ってくださることを、希望いたします。

新入生のみなさんは、アメリカの金融破綻に端を発した「百年に一度」とも称される世界的な経済危機の時代に、この大学に入ってこられました。そうした大変な時代に、みなさんは大学で真剣に学び、考え、問題を見つけ、それを解決し、正しい意見を正々堂々と主張することができる——確かな知的活動力と創造力を、身につけなければなりません。

いま関西大学では、国際化、国際交流に大きな精力を

注ぎ込んでいます。それは、国土が狭く、資源の乏しい日本は、国際的に通用する学力と人間力を備えた人材という知的資源を養成し、21世紀のグローバル化時代に生き残っていく必要があることを痛感しているからです。そのため、昨年10月から、教育推進部、研究推進部、社会連携部のほかに、教育研究の国際化と国際交流を専門に担当する国際部を立ち上げました。その国際部には専任の教員が所属し、語学教育、国際理解のプログラムの開発や、学生諸君の留学について、適正かつ有効なアドバイスを提供されます。一人でも多くの学生諸君が世界の舞台で活躍するため、在学中の4年間を生きし、怠りのない備えをしてくれることを強く望みます。

本年4月、関西大学に第11番目の学部となる「外国語学部」を新設したのも、そうした考えによるものです。外国語学部では、関西大学の教育理念——「国際的精神の涵養」と「外国語学習の必要」——を実現するために、グローバル化が進展する国際社会で幅広く活躍する人材を養成します。また、昨年4月に創設いたしました大学院心理学研究科のなかに「心理臨床学専攻(臨床心理専門職大学院)」を設け、世界で活躍できる臨床心理士を育成いたします。

ルソーはいつに言っています。「青年時代は知恵をみがくときである」と。この4年の間に、みなさんはさまざまな学びと体験を通じて、世界にはばたく立派な人として旅立つことができるよう頑張ってください、と思います。関西大学はそのため、できる限りの支援をおこないます。

HEADLINE

3面 スタート 学部・大学院の新体制が

この4月に外国語学部、臨床心理専門職大学院、文学部アジア文化専修が開設され、工学研究科が理学研究科に改組・名称変更された。

4・5面 新入生に紹介します! 関大生情報

新入生のみなさん、入学おめでとう。ここでは、みなさんが充実した大学生活を送るために、在学生がおすすめの情報をご紹介します。

特集

8面 「考動」する学生サポーターたち

何か新しいことを始めたい気持ちにさめる4月。学生サポーターとして充実したキャンパスライフを送る関大生に学生広報スタッフが取材した。

特集(学生企画)

- ②面：大入事・新役職者紹介・新任教員紹介
- ③面：入権問題の冊子を配付
- ⑥面：スボッ観戦で関大生を羨望しよう!
- ⑦面：新入生歓迎特別行事を開催



「大阪弁を考へる」(食べ物科学する)「旅から始める知の冒険」これらが授業科目の名称とは、にわかには信じがたい人もいるだろう。いずれも昨年四月から、主として新入生を対象に開講している全学共通科目である。関西大学の学生として、総合的な知性を育てるために設けられた。全一七九科目。受講生の評判も上々らしい。学生時代、同科目の前身である一般教育科目に苦しめられた経験がある。一年次に取得した単位は、忘れもしない、わずか四単位。味気ない内容に嫌気がさして、ほとんど欠席したのが祟った。あの当時、こんなにかいた授業があれば：。現在の関大生がうらやましい。▼クラブやサークルに入らなかつたことも、今さらながら後悔している。息の抜ける居場所がなく、気が置けない友人も少なかったため、キャンパス内での滞在時間が短かった。落とした単位を取るために、上位年次になるほど足繁く通う羽目になった▼こういう佳い学生生活を送ることがないよう、新入生のみなさんには、ぜひとも課外活動に参加してほしい。かけがえのない出会いや成長の場が、そこにはきっとあるはずだから。

(藤本 清高)

新入生に紹介します! 関大生 **得** 情報

新入生のみなさん。入学おめでとうございます。
これからの4年間は、これまでの生活とはまったく
楽しみとともに不安もあると思いますが、何事にも
ここでは、みなさんが充実した大学生活を送るために、

関西大学へようこそ。
違った世界が待っています。
チャレンジを忘れないでください。
在学生おすすめの**得**情報を紹介します。



【外国語会話交流会】 生の外国語を身につける

官本 将光 さん
国際部で毎週行われる、外国人留学生による外国語交流会はかなりお勧めです。言語の種類はその時の留学生によって違いですが、中国語、英語、オランダ語、フランス語、タイ語、アラビア語、ドイツ語と種類はさまざま。
毎週行われていますので、自分の興味ある言語は要子エックです。交流会の内容も普段学校で行われる授業とは違い、私の参加した交流会では最近の洋楽のヒット曲を教材にしたり、日本と留学生の母国の文化の違いについてディベートしたりしました。留学生が各自で交流会の内容を考えているので楽しくわかりやすく外国語を学べますし、しかも友達感覚でしゃべれるから語学を勉強したい人はぜひ参加すべきです。雰囲気がいいので、間違っても全然大丈夫。どんどんしゃべって生の外国語を身につけることができます。
この授業をきっかけに留学生と友達になればさらに世界が広がるかもしれません。毎週行われているのでできるだけ最初の授業から参加すると、留学生や参加者と仲良くなりやすいですよ。
(政策創造学部3年次生)

外国人留学生と日本人学生との交流や、日本人学生の外国語能力の向上を目的として、春・秋学期に約2カ月間、週1回(約90分)行われています。講師は、外国人留学生によるボランティアです。昨年度の秋学期実績では、アラビア語、英語、オランダ語、タイ語、中国語、朝鮮語、ドイツ語、フランス語の8言語の講座(定員各10人)が開かれました。
問い合わせ:国際部



【関西大学アイスアリーナ(高槻キャンパス)】 寒いけど熱いアイスアリーナ

小川 愛奈 さん
アイスアリーナでは、さまざまなイベントが行われます。高槻市民に向けたイベントが行われた日、司会として参加していた私たち放送研究会のメンバーも、アイススケートを体験させていただくことになりました。
ところが私にとってはこの時が初めてのアイススケート。ドキドキしながら氷の上へ。「この上をぐるぐる回るなんて、信じられない」とフィギュアスケート選手のごさを感じつつ、ひたすら手すりに沿って歩くこと約1時間。最後には、スケートリンクを横断できるように、寒さも怖さも忘れて楽しめました。
アイスアリーナは「身体は寒いけど、心は熱くなる場所」です。みなさんもその「熱さ」を体験してみませんか?
(文学部4年次生)

アイスアリーナは、創立120周年記念事業の一環として、平成18年に建設されました。リンクは縦60m×横30m、アイスホッケーの国際競技規格を満たしており、フィギュアスケートやスピードスケート・ショートトラックの公式試合の開催も可能です。
月1回程度、学生・教職員にも「滑走デー」が設けられています。利用料は、滑走料金、レンタルシューズ代とも500円。
問い合わせ:アイスアリーナ管理棟事務室



【学校インターンシップ】 生徒や先生との出会いから 人間的に大きく成長できる

神田 笹名 さん
早い時期から実際に教育現場に立ち、教育について身をもって学ぶことができる学校インターンシップ。その最大の魅力は、教員志望の人もそうでない人も人間的に大きく成長できること、また、大学生活をより濃いものにしてくれるところにあります。児童・生徒や先生との新たな出会いやさまざまな経験を通して、自分に足りないものは何なのかを発見でき、また自分の持っている良い部分を伸ばすことができます。自分が動けば動くだけ、吸収するものは多くなります。
関西大学では1年次生から、自分のスケジュールに合わせてこの学校インターンシップへの参加が可能です。大学の講義とはまた違う活動を通して、在学中に自分の可能性を広げ、豊かな人間になってください。
(文学部2年次生)

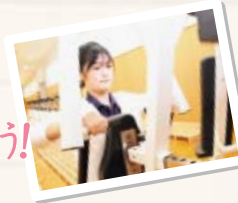
インターンシップはアルバイトではない「働き」を経験し、社会人と触れ合い、もの考え方を学ぶことによって、職業観を養うことが目的です。
今回、体験報告のあった「学校インターンシップ」のほか、キャリアセンターが主催する「夏期インターンシップ」(夏休みに国内企業・団体で実習を行う)、「国際インターンシップ」(海外の企業・団体で実習を行う)など5種類のインターンシッププログラムがあります。
問い合わせ:キャリアセンター事務局、高大連携センター(学校インターンシップのみ)



【中央体育館トレーニングルーム(千里山キャンパス)】 心と身体も鍛えて 健康的に楽しく過ごそう!

早川 真未 さん
身体を動かしたい、鍛えたい、痩せたい……そんな方にお勧めなのが、中央体育館にあるトレーニングルームです。ここでは、関大生であれば誰でも無料で使えます。利用に際しては事前にスポーツトレーナーによる講習が必要となりますが、その後は自由に使えます。また、自分の鍛えたい部分ややりたい部分、筋肉のことなどをトレーナーに質問すれば、指導も受けられます。
本格的に身体を鍛えたい人はもちろんのこと、軽く汗を流したい人にも、有酸素運動に効果的なエアロバイクやレッグプレス、ベンチプレスなどのさまざまな器具を自分のペースで利用できます。心も身体も鍛えて、健康的に楽しく関大ライフと一緒に送りましょう。
(社会学部2年次生)

問い合わせ:スポーツ振興課



【室内温水プール(千里山キャンパス)】 空き時間に スイミングでリフレッシュ

瀧野 朝菜 さん
100周年記念会館にある室内温水プールを、私は関大一高の水泳部の時から使っていました。とてもきれいで、大学プールで泳げる日はすごく楽しみで「大プー」と呼んで親しんでいました。
現在は、水泳サークル「SEAHORSE」のメンバーとして、またこの「大プー」を利用しています。サークルは週に3回活動していて、高校の時から顔見知りとなった受付の人にも声をかけてもらって、今日も頑張って練習しようという気持ちで湧いてきます。料金は210円と安く、関大生であれば誰でも利用できます。留学生や先生なども多く利用されるため、意外な出会いや交流を深めることができる場所となっています。あなたも、ちょっとした空き時間に泳いでリフレッシュしてみませんか?
(文学部3年次生)

室内温水プールは、正課体育と水上競技部を中心に利用されていますが、一部、学生への利用の時間も設けています(不定期)。利用料210円。
問い合わせ:プール内事務室



【エクステンション・リードセンター】 資格講座で将来の可能性を広げよう!

長沼 真理子 さん
エクステンション・リードセンターでは各種資格試験・国家試験対策を目的とした講座が多数開講されています。法学部生の私は、自分の将来の可能性を広げるため法科大学院入試対策講座を受講しています。
この講座は、内容が充実していることはもちろん、原則として学部の5時限目の講義が終了してから始まることや、学内で受講できるという点で非常に利用しやすいという特徴があります。また、欠席した場合は空き時間などにフォロビデオを見て、次回の講座に備えることができるのも魅力の一つです。さらに、他の専門学校と比較して受講料が低価格であるため、金銭面の負担が軽くなる講座を受講できるので安心です。
(法学部2年次生)

問い合わせ:エクステンション・リードセンター事務局

【デジタルライブラリ VODシステム(ITセンターウェブサイト内)】 プレゼンテーション能力の アップをめざして

堀内 亜希 さん
大学では、あるテーマについて調べたことや自分の考えをまとめて、プレゼンテーション(発表)する機会が多くあります。そして多くの場合、PowerPoint(プレゼンテーションソフト)を使用して、資料やスライドを作成することになります。PowerPointの使い方が分からない、見やすい資料やスライドの作り方を知りたい……そんな時には、ITセンターデジタルライブラリ(Video on Demandシステム)を見てください。
デジタルライブラリでは、PowerPoint2007を使用したプレゼンテーション資料の作成方法を動画で学ぶことができます。実際にPowerPoint*を操作しながら、動画を止めたり、何度も繰り返して見たりして、自分のペースで学習することができます。デジタルライブラリで学習したことを活かして、効果的で説得力あるプレゼンテーションをめざしましょう!
(大学院心理学研究科M2)

*ICカード(学生証)確認について
・ITセンターウェブサイト内では、ログイン時に利用者IDを学生証から読み取るため、学生証が必要です。
*VODシステムについて
・PowerPoint2007の基本的な使用方法を動画で学習できます。
・学外からもアクセスできるので、自宅での自習等に活用してください。
・ITセンターで利用する場合、イヤホンは各自用意してください。
*インターネット利用について
・インターネット(WWW・電子メール等)の利用には、電子メール・学外Web利用申請が必要です。
問い合わせ:ITセンター



【メディアライブラリ】 映画や語学教材を 鑑賞して気分転換を

中野 誉久 さん
メディアライブラリにはさまざまな資料・教材があります。例えば、英検・TOEIC®・TOEFL®対策の教材や海外のドラマや映画などです。英検やTOEIC®の教材を実際に買おうと、けっこうな出費になりますが、ライブラリーでそれらの教材を借りればお金をかけず勉強できます。室外に貸し出し不可な資料(映画のDVDなど)は、その場で直接見ることもできるので、授業の空き時間や気分転換したい時などに気軽に活用するのもいいと思います。
また、活用法は人それぞれだと思いますが、うまく活用すれば資格も取れるし、海外の映画・ドラマをおもいつき楽しむこともできます。
だまされたと思って一度訪れてみてはいかがでしょうか。
(社会学部3年次生)

メディアライブラリーは、第1学舎3号館(4階)と第2学舎1号館(4階)の2カ所にあります。本数は少ないですが、高機能図書にも置いてあります。
問い合わせ:授業支援ステーション(第1学舎)



【データベースポータル(図書館ウェブサイト内)】 レポートや論文作成に有効な記事検索

今西 加奈 さん
大学生になるとレポートや論文を書く機会が多く、それらの作成には参考文献が必要です。参考文献の中でも特に雑誌論文(雑誌記事)・新聞記事には最新の研究や情報が掲載されています。図書館ウェブサイトの「データベースポータル」は、関西大学で利用可能なデータベースを資料のタイプ別・分野別に分類して、使いたいデータベースにすぐアクセスすることができ、膨大な情報の中から欲しい情報を探るのに便利です。
雑誌論文の検索には「MAGAZINEPLUS」や「CINii」が便利です。探しているテーマや雑誌名から論文を検索でき、知りたい情報をすぐに入手できます。新聞記事は、日経新聞の「日経テレコン21」などのように新聞社ごとにデータベースがあり、記事の内容や記事が掲載された日付からも検索できます。これらの他にもデータベースはたくさんありますので、ぜひ使ってみてください。
(大学院文学研究科D3)

問い合わせ:総合図書館レファレンスカウンターまたは高機能図書室

【インフォメーションシステム】 大学生活に欠かせない 情報ポータルサイト

堀江 智子 さん
大学生活を送るうえで、自分で情報の管理・確認を行うことは非常に重要です。高校までとは違い大学では、自分に必要な情報は自分でチェックしなければなりません。誰かが教えてくれるということはないのです。インフォメーションシステムは、教務連絡(履修届手続きなど)、日々の講義連絡(平常テストや教室変更など)、学生生活支援情報、就職支援情報、試験情報など、私たちにとって必要不可欠なことを知らせ教えてくれる「情報のポータルサイト」です。
インフォメーションシステムを介して、講義で課されたレポートを提出することもよくあります。講義関連はもちろん、落とし物の連絡や特別講演会への参加応募、課外活動情報の手入……このシステムをうまく活用することによって、あなたのキャンパスライフは爽やかなものになることでしょう。ケータイからも確認できますし、先生や大学からの個人宛てメッセージを登録した任意のアドレスに転送することも可能です。
インフォメーションシステムを常時チェックすることこそ、大学生活の必須事項です!
(商学部2年次生)

問い合わせ:ITセンター



【東京センター】 都会のオアシス

密城 加好 さん
「都会のオアシスとはこのことか……」慣れない東京で緊張の就活、東京センターでは本当に心を癒されます。
東京駅に直結するビルの一室、こちらが驚くような大きな挨拶と温かいお茶で職員が迎えてくれます。ここでは、パソコンや100円を入れても戻ってくるロッカー(笑)、飲食・更衣スペースが利用可能です。そして、行った人だけが知る秘密の食事!!お湯を入れたら数分のアレをいただけるのです。卒業生の差し入れ*だそうで、「関大」でつながる心遣いに、心と財布が癒されます。また、訪問した学生が書き残すノートを読んで、数々の先輩の足跡に元氣ももらえます。
便利なだけじゃない東京センター。ここを知らずに関大を卒業するのはもったいないですよ! *卒業生からのご好意によりいただいているため、通常のサービスではありません。
(経済学部4年次生)

東京センターはJR東京駅に直結の場所にあつて、首都圏での就職活動をバックアップします。学割証や成績証明書などの各種証明書の発行を受けたり、インターネット端末を自由に利用して最新情報を収集したりと、就職活動の拠点として非常に使いやすいオアシスです。
そのほか、卒業生の交友活動のサロンとして、また受験生への情報提供の場としても利用されています。
問い合わせ:東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9階(JR東京駅日本橋口(東海道・山陽)すぐ) ☎(03)3211-1670(代)

【SUN MADE(凜風館3階)】 夕方のパン屋さん

松原 志帆 さん
凜風館の3階には「SUN MADE」というパン屋さんがあります。おいしい焼きたてパンや種類豊富なドリンク、かわいらしいアイシングクッキーまで売っていて、ほんと一息つくのに最適です。今回はこのパン屋さんのお得情報を紹介します。なんと、夕方5時30分の閉店が近づくと、パンがとって安くなるんです!
私の所属するアカベラサークルが凜風館の裏で活動しているので、みんなこの時間が近づくとパンの様子をふらりと見に行きます(笑)。小腹がすいたときに気軽に買えるパンは、いろいろと出費の多い大学生にはありがたいです。サークル員もみんな「SUN MADE」が大好きです。みなさんもぜひ一度食べてみてくださいね。
(社会学部2年次生)



豊かな出会い、経験を 新入生歓迎特別行事

入学おめでとうございます。大学生として最初の第一歩を歩み始めるあなたに、私たちは新入生オリエンテーション期間を設け、ガイダンスとサポート、講演会やスポーツ観戦など、さまざまな歓迎行事を準備しています。大学生になって初心を固めるこの時期に、豊かな出会いを経験し、希望溢れる学生生活をスタートしてほしいからです。各学部が、あなたのために準備した催しを次に紹介しますので、積極的に参加してください。

(副学長 芝井 敬司)

法学部

薬害肝炎訴訟を通じて伝えたいこと

5年余りの裁判闘争の末、昨年1月に議員立法「薬害肝炎被害救済特別措置法」が全会一致で成立し、被告の国・企業との基本合意を締結した。その後も、薬害肝炎原告団の最終目標である「薬害根絶」と「肝炎総合対策」の実現に向けて、さらに活動を続けている。350万人いると推計されるウイルス性肝炎患者の代弁者として、そして、未来を担う若者を被害者にも加害者にもしないために。

【日時】4月2日(木)13時30分～15時
【場所】千里山キャンパス第1学舎1号館千里ホール
【講師】薬害肝炎全国原告団代表 山口美智子氏

※講義後半に次の講演を予定している。

講師:大阪弁護士会所属・薬害肝炎訴訟大阪弁護士団 加藤高志氏
演題:「関西大学法学部新入生諸君へ―薬害エイズ、薬害肝炎などの裁判をも踏まえて」

文学部

自分を育てるために

自分をどのように育てるか、新入生に最適なテーマで、読売新聞東京本社老川祥一社長を招き、講演会を開催する。以下、講師による講演概要である。ケータイやネットの普及に伴い、本や新聞を読まない若者が増えている。明確な目標を持たず進路選択に失敗するケースも多い。情報やモノがあふれる現代社会にあって、努力して学ぶことの大切さが見失われているように思える。「自分」や「個性」は、他者と社会との相互作用を通じて形成される。読書を通じて、また友人との交わりを通じて、人間および社会を知り、自分で自分を育てることの大切さを、私自身の新聞記者体験やメディア論の視点を踏まえ、フレッシュな新入生に語りたい。

【日時】4月2日(木)10時～11時30分
【場所】千里山キャンパス第1学舎1号館千里ホール
【講師】読売新聞東京本社代表取締役社長 老川祥一氏

経済学部

すべての人が誇りを持って生きられる社会に

竹中ナミさん(ナミねえ)、ハンディキャップを持つ人を障がい者にとらえず、神様から挑戦すべきことを与えられた人、「チャレンジド」と呼ぶ。そして、今のICT技術を活用して在宅就労すれば、「チャレンジド」も納税者になれると考えている。「チャレンジド」が、全ての人が、それぞれの役割を持ち、誇りを持って生き生きと暮らすことのできるユニバーサル社会実現のため、活動を続けている。今、世の中は不景気な話であふれているが、ナミねえはいつもとても元気がいい。大学生生活のスタートに、ナミねえの話から広い視野と生きる活力をたっぷり学び取ってほしい。

【日時】4月2日(木)13時～14時
【場所】千里山キャンパス第2学舎4号館 B1Gホール100
【講師】社会福祉法人ブロップ・ステーション 理事長 竹中ナミ氏

商学部

夢の実現に向けて/変えることへの挑戦

人が行動(考動)するとき、かならず理由があり、目的があり、夢がある。大きさや挑戦期間、困難さはさまざまであるが、その夢の実現に向けて、人は行動を起こす。逆に言うところ、目的や夢があるから人は行動でき、変えられる。

講師の高木美作氏は、シャープ(株)において、品質管理教育を通じて人材開発を行うとともに、さまざまな社外活動を通じて、社会貢献を行ってこられた。こうした豊富なご経験をもとに、私たちの夢の実現に向けて、見方や考え方、意識、行動を変えようの重要さ、および、それを実現することにより柔軟でイノベティブに生きていくためのヒントとなる内容の講演を予定している。

【日時】4月1日(水)16時～17時
【場所】千里山キャンパス第2学舎4号館 B1Gホール100
【講師】シャープ株式会社 C S推進本部品質戦略室 人材開発担当 参事(部長職)高木美作氏

社会学部

僕が映画を作るわけ/大学生は社会人のイントロ

崔 洋一氏 映画が発明されて100年を超えた。映画の魅力とは。何が僕に映画を作らせているのか。おそらくいまの日本だろう。映画は社会を、人間を、心を、そして自分のすべてを映す。僕の映画を見て、ひとが笑い、泣き、怒り、そして満足したとき、僕はもう次の映画のことを考えている。

土井年樹氏 街と流通の関わり―街あきんどと企業あきんどの違い、文明が文化を駆逐する―日本の文化の掘り起こし、家族・若者・社会、天満天神繁昌亭と天神橋筋商店街は運命共同体、産商学による街再生の成功事例町街人について講義予定。

【日時】4月1日(水)入学式終了後
【場所】千里山キャンパス第3学舎
【講師】崔洋一氏(社会学部/マス・コミュニケーション学専攻 D101教室)、土井年樹氏(心理学/社会システムデザイン専攻 A101教室)

政策創造学部

キャリアをデザインしよう!

「光陰矢の如し」。大学生生活はあっという間に過ぎて行く。開設3年目を迎える政策創造学部では、4年間を計画的に設計し、無駄に大学時代を過ごさぬよう、将来を見据えたキャリアデザインができるように指針を示している。進路選択に役立つ各種試験、資格取得や海外留学などについての情報を入学後の段階から提供している。キャリアセンター、国際部、リードセンターによる制度説明を聞いて、「関大生の特権」を余すことなく利用してほしい。このガイダンス以外にも政策創造学部独自の海外英語研修説明会を4月3日(金)13時30分から予定しているので、海外留学に興味のある新入生はあわせて参加してほしい。

【日時】4月2日(木)13時30分～15時
【場所】千里山キャンパス第1学舎5号館E401教室
【説明】キャリアセンター事務局、国際部およびリードセンター事務局

外国語学部

同時通訳者が語る貴重な知見

かつて西山千、相馬雪香、村松増美、國弘正雄、小松達也、そして烏飼玖美子というそうそうたる同時通訳者を輩出した日本の同時通訳界において、今や名実ともに第一人者の地位を占める鶴田知佳子氏(東京外国語大学教授、本学客員教授)、長い海外生活と豊富な同時通訳経験に裏打ちされた貴重な知見を新入生に披露していただく。オバマ大統領就任演説のCNNの中継を同時通訳した鶴田氏が語る、コミュニケーション成立の根幹を占める歴史・文化・思想に対する鋭い眼差しを感じ取ってほしい。

【日時】4月1日(水)学部案内終了後
【場所】千里山キャンパス100周年記念会館ホール
【講師】同時通訳者 鶴田知佳子氏
 (関西大学客員教授・東京外国語大学教授)

総合情報学部

テレビの嘘を見破れ!

祝「探偵ナイトスクープ ゴールデンタイム進出」記念講演。いや間違えました。祝「入学おめでとう」記念講演。

面白いとはどういう事か。人は何故面白いのか。テレビ番組を通して面白いという事を提案してきた独りの人間として、言わせてもらいたい。嘘をついてまで笑わせてどうするのか。巧妙に仕掛けられたテレビ番組のやらせに対抗すべく、25年間、ガチンコ勝負で番組を作り続けてきた立場から、テレビ制作における嘘を徹底的に検証し、新しい時代のクロスメディアエンターテインメントのあり方を考える。

【日時】4月2日(木)13時～14時30分
【場所】高槻キャンパスE棟情報メディアホール
【講師】関西大学客員教授 谷 雅徳氏

システム理工学部/環境都市工学部/化学生命工学部

地球時代における新しい「ふるさと」の発見

今、日本は大きな転換期にあります。私たちの暮らしの仕組み、環境の仕組みを、新たな時代にふさわしいものにしていかねばなりません。その一つの方向が、都市の再生です。魅力のある都市、活気がある都市、暮らしやすい都市を造っていかねばなりません。そのような都市は、一体、誰が造るのでしょうか。私たち、そして君たちです。

1995年に起きた阪神・淡路大震災からの復興が、そのことを教えてくれました。お役所や企業ではなく、市民が主役になって復興が進んだのです。みなさんは、その時まで、小学生にもなっていないかっただけです。

都市再生の目標の一つは、人びとが訪れてみたいと思うような魅力のある環境の形成にあります。その第一歩が、私たち自身が、都市を好きになることです。つまり、都市の魅力づくりは、自分が「ふるさと」だと思えるような都市を再発見し、好きになることから始まるのです。

理工系の学問を学んだ人たちは、将来、モノづくり、環境づくりに関わることになると思います。都市の再生にも大きく貢献するようになると思います。そのような役割がありますから、「つくる」ことにおける「デザイン」の重要性について、理解して欲しいと思います。みなさんが大学で何を学ぶべきかへの期待についても、論じたいと思います。

【日時】4月1日(水)学部案内終了後
【場所】千里山キャンパス中央体育館
【講師】関西大学特任教授・大阪大学名誉教授 鳴海邦邦氏



可能性を広げるため
ぜひ活用を

多くの企業で昇進要件として、TOEIC®と留学に必須のTOEFL®の各テスト対策コースで、実力に合ったクラスを受講し、真の英語力を身につけてください。

レベルや目的に応じた情報処理講座
 Excel®のスキルを習得することが出来るExcel講座

「弁理士講座」では、基本的な知識の習得を講義で短答式対策の基礎をゼミで学習し、弁理士試験合格をめざします。

「宅建」・「旅行」・「通関士」・「社労士」・「ファイナンシャルプランナー」(AFP)・「2級FP技能士」・「色彩検定」・「行政書士対策」などの各種資格試験対策講座を開講しています。

「公務員講座」では、主に行政職公務員をめざす人の「国・地方上級対策講座」「国・I対策講座」、技術系公務員をめざす人の「技術系対策講座」「土木職対策講座」、心理職公務員をめざす人の「心理職対策講座」のほか、すべての公務員で出題される教養科目の対策として「教養対策講座」を開講しています。

公認会計士・税理士受験を簿記検定講座から支援

「大石会計士入門講座」で

エクステンション・リードセンターでは、一年次生から専門的な資格取得や難関国家試験合格の実力を養成するための講座を開いています。将来の可能性を最大限に広げるため、ぜひ活用してください。

レベルに合ったクラスで受講できる英語講座

「司法講座」では、法科大学院入試対策講座、司法書士対策講座を開講。特に法科大学院入試対策講座では、法律家に必要な知識の習得を初歩から学ぶ講座から、学んだ知識を活用する答練型の講座まで幅広く展開しています。

「司法講座」では、法科大学院入試対策講座、司法書士対策講座を開講。特に法科大学院入試対策講座では、法律家に必要な知識の習得を初歩から学ぶ講座から、学んだ知識を活用する答練型の講座まで幅広く展開しています。

「税理士講座」では、税理士試験の必須科目である簿記論と財務諸表論を設け、早期合格をめざします。また、「簿記検定講座」を3級対策コースから開講しています。

は必須科目の基礎を学び、難関試験突破に向けスタートを切ります。

「税理士講座」では、税理士試験の必須科目である簿記論と財務諸表論を設け、早期合格をめざします。また、「簿記検定講座」を3級対策コースから開講しています。

知的財産のエキスパート弁理士をめざす

「弁理士講座」では、基本的な知識の習得を講義で短答式対策の基礎をゼミで学習し、弁理士試験合格をめざします。

「宅建」・「旅行」・「通関士」・「社労士」・「ファイナンシャルプランナー」(AFP)・「2級FP技能士」・「色彩検定」・「行政書士対策」などの各種資格試験対策講座を開講しています。

「公務員講座」では、主に行政職公務員をめざす人の「国・地方上級対策講座」「国・I対策講座」、技術系公務員をめざす人の「技術系対策講座」「土木職対策講座」、心理職公務員をめざす人の「心理職対策講座」のほか、すべての公務員で出題される教養科目の対策として「教養対策講座」を開講しています。

公認会計士・税理士受験を簿記検定講座から支援

「大石会計士入門講座」で

関大通信 第361号

平成21年(2009年)4月1日
大阪府吹田市山手町3-3-35
http://www.kansai-u.ac.jp/
次号は5月15日発行の予定です

考動する 学生サポーターたち

4月になると、何か新しいことを始めたい気持ちに駆り立てられる。ただ具体的なには何をしたらいいのかわからない、と悩む人も多いのではないだろうか。
あまり知られていないが、関西大学にはサークル活動以外にもキャンパスライフを充実させてくれる仕掛けがいっぱいある。今回は、キャンパスを中心に活動できる課外活動を特集し、活動内容や応募方法を紹介する。

授業支援SA: スチューデント・アシスタント

各学舎にある授業支援ステーションで、授業に必要な機器の設置や、出席票の配布・整理(データ入力)など授業運営のサポートを行うアルバイト。詳細は、事前説明会で聞くことができる。第1学舎勤務の田島良平さん(文学研究科修了)にSAのやりがいについて聞いた。



[SAはステーションの"顔"となるので責任は大きいですが、それが仕事のモチベーションを高めてくれます。先生を相手に仕事をすることが多いので、対応の仕方などでマナーも身につけてくるといいます。ステーションに来た人への挨拶が基本。大事なものは元気に対応していくことだ。]

募集対象:全学部生、大学院生
募集時期:年2回(次回、秋期募集は7月中旬の予定)
定員:約180人
応募方法:インフォメーションシステムの「お知らせ」に掲載

MCS: メディア・クリエイティブ・サポーター

メディア・クリエイティブ・サポーターは、総合情報学部の映像実習でのサポートを中心に活動を行っている。現在の人数は17人。日常のサポートは授業のSAや機材のマニュアル作りなどだ。



業務用カメラも使うことができる

そのほかにも、毎年5月に行われる高槻キャンパス祭でのイベントや「MediFes(メディアフェス)」という実習授業で制作した作品の発表会の企画ならびに運営も行った。さらに昨年は3分間のドラマを製作し、学外の映像祭に参加した。この時、作品製作という形で達成感を得ることができたという。実習授業の支援にとどまらず、映像関係のことなら多様に取り組む団体である。

募集対象:総合情報学部生
問い合わせ:高槻キャンパスC棟実習準備室

ボランティアセンター学生スタッフ

関大生にボランティアを身近に感じてほしい。これをテーマに活動しているのがボランティアセンター学生スタッフである。図書館での本の落書き消しや市民団体と共同で行う淀川河川敷掃除など、募集を見て集まった学生と一緒に活動している。



そのほかにもボランティアサークルとの共同展示会、また昨年の学園祭ではECOをテーマに展示・体験のブースを出した。スタッフの梅田麻菜さん(社2)は「ボランティア活動を通してやり遂げたという気持ちを得ることができた」と語ってくれた。



募集対象:学部1・2年次生のみ
問い合わせ:千里山キャンパス 淀川館1階ボランティアセンター
参考URL:http://www.kansai-u.ac.jp/volunteer/

広報スタッフ取材レポート

2月1日に行われた淀川掃除ボランティアは、寒い中30人を超える学生が集まり、ボランティアセンター学生スタッフと一緒に清掃活動を行った。河川敷は思った以上にゴミが落ちていて、中には冷蔵庫といった大型ごみまで捨てられていた。1時間ほど清掃を行いきれいになった河川敷を見て晴れやかな気持ちになることができた。

SWinG: スウィング



SWinGは、政策創造学部のウェブサイト内「学生のページ」において、学生生活や、政策創造学部に関することなどの多彩な情報を提供している。情報提供は、主に受験生に向けてのものであり、学生の生の声を通して受験生を支援していくことを目的としている。



今までの主な活動は、ゼミや下宿に関する特集や、政策創造学部祭典実行委員が実施するイベントの取材などで、情報提供の過程には、企画・取材・編集などがある。受験生の支援や、学部のウェブサイト内に活動の跡を残すことができるという点で、とてもやりがいがある。SWinGのメンバーは、現在10人で、同じ学部生同士の集まりということもあり、アットホームな雰囲気の特徴。

募集対象:政策創造学部生
問い合わせ:千里山キャンパス 岩崎記念館オフィス
参考URL:http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_policy/students/index.html

キャリアセンター学生スタッフ

キャリアセンターが毎年11~12月に開催する業界研究会と、1月末から2月上旬にかけて開催する企業説明会では、数多くの学生ボランティアスタッフが協力している。これがキャリアセンターの学生スタッフだ。主な活動内容は企業の採用担当者の接待、企業説明会の司会や各種資料の配布など。

キャリアセンターが毎年11~12月に開催する業界研究会と、1月末から2月上旬にかけて開催する企業説明会では、数多くの学生ボランティアスタッフが協力している。これがキャリアセンターの学生スタッフだ。主な活動内容は企業の採用担当者の接待、企業説明会の司会や各種資料の配布など。

募集対象:次年度の募集時期等については、現在のところ未定(2・3年次生が対象となる予定)
問い合わせ:キャリアセンター

ピア・コミュニティ

ピア・サポートとは、「仲間同士の助け合い」を意味するもので、ピア・コミュニティのスタッフが学生の必要としている支援に対し、学生の力を注入し、学生同士の助け合いを促進することを目的とした活動である。例えば、スポーツなどのイベントを通じた交流の場の提供や留学生支援などがある。関大生が何を求めている、それに対して、スタッフは何ができるのかを考えていくのは、大変な反面、とてもやりがいがある。詳しくは、学生センターが発行している、ニュースレター「びあかんず」4月号を参照してほしい。

募集対象:全学部生、大学院生
募集時期:随時
問い合わせ:学生生活課
参考URL:http://www.kansai-u.ac.jp/gakusei/gp/

学生広報スタッフ

『関西大学通信』の最終ページ(この紙面です!)を作ることが、主な活動である。以下の手順で学生が楽しめる紙面を作っていく。

企画 Step 1

発行月に合わせて、26人全員でテーマを決める。テーマが決まれば、チームに分かれて記事の具体的な内容や、誰にどのように取材をするかの詳細や担当を決めていく。実現できるかわからなくても、あれをしたい、これをしたと夢を持って話することができるのが、企画ならではの楽しみだ。



取材 Step 2

記事の出来を左右する大切な取材。アポをとることからスタートし、限られた取材時間を有効に使うために下調べも欠かせない。取材では、普段行かないような場所に行ったり、初対面の人にインタビューしたりと、視野を広げるきっかけとなる。



執筆・完成 Step 3

執筆作業では、何をどう書けばいいのかわからず悩む。文字数を考えながら記事を書くのは難しいけれど、上手く文章にできたときにやりがいを感じる広報スタッフも多い。書いた記事をまとめて、間違いがないか校正をして完成になる。



一緒に「関大通信」を盛り上げよう!

広報スタッフならではの感動は、自分が担当した記事が紙面になる時に味わえる。新入生を始め、関大生のみならず、なかで「文章を書くのが好き」「カメラが得意である」など得意な分野を活かしてみませんか。募集については、今後インフォメーションシステムでお知らせする予定です。 問い合わせ:広報課

企画・編集:学生広報スタッフ

上窪大貴(政策3)、小森まゆこ(平成21年社会学部卒)、菅原直亮(情2)、高野早智(文4)

編集後記

登頂した瞬間に広がる壮大な景色に感動させられる。でも、五分もすれば景色に慣れ(順応)して感動は薄れてしまう。先ほど感動した景色の美しさも、順応による感度低下で当たり前になり、感動は長くは続かない。順応は生きるために重要な特性だが、時に感動的で大切にすべき物事を覆い隠し、それを見極める眼を鈍らせることもある。新入生のみならず、登頂の瞬間のように大学への感度の高いこの時期こそ、多くの体験を通して物事を見極める眼を養ってほしい。先人が築いた環境に順応しつつも、その大切さの本質を見極め、誰かが登頂したいと思わぬ、さらに良い環境をともに創造していきましょう。一在(在)者としてみなさんの入学を心から歓迎申し上げます。(原直也)